

A modified GnRH antagonist method in combination with letrozole, cabergoline, and GnRH antagonist for PCOS: Safe and effective ovarian stimulation to treat PCOS and prevent OHSS

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2023-06-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 柳原, 康穂 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003036

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2721 号

A modified GnRH antagonist method in combination with letrozole, cabergoline, and GnRH antagonist for PCOS: Safe and effective ovarian stimulation to treat PCOS and prevent OHSS

多嚢胞性卵巣症候群に対してレトロゾール、カベルゴリン、GnRH アンタゴニストを併用し、卵巣過剰刺激症候群を予防でき効果的な改良型 GnRH アンタゴニスト法

柳原 康穂 (やなぎはら やすほ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

多嚢胞性卵巣症候群(PCO)患者では生殖補助医療(ART)により卵巣過剰刺激症候群(OHSS)を発症しやすく、また卵子の質が低いことが問題となる。改良型多嚢胞性卵巣症候群(COH)はレトロゾール、カベルゴリン、GnRH アンタゴニストを組み合わせることで卵子の質を保ち、OHSS 発症に関与する血清 E2、VEGF 高値を改善させることを目的とした刺激法である。そこで申請者は改良型 COH の有用性を示すために、PCOS 患者に対して改良型 COH を含んだ異なる 4 つの COH (A 群;ロングプロトコール, B 群;GnRH アンタゴニスト法 HCG トリガー, C 群;GnRH アンタゴニスト法 GnRH アゴニストトリガー, 改良型 COH 群) で治療をおこなった患者を、OHSS 発症率や臨床成績について後方視的に解析したコホート研究を行っている。PCOS 患者 175 例中、改良型 COH で治療された 45 例で採卵 47 周期、胚移植 75 周期、従来法で治療された 130 例が採卵 136 周期、胚移植 250 周期が実施された。結果として採卵 1 回あたりの累積妊娠率は、改良型 COH 群では A 群より有意に高く、B 群、C 群より高い傾向にあった (A 群、B 群、C 群、改良型 COH 群。それぞれ 40.0%、54.5%、56.3%、72.3%)。また OHSS 発症は改良型 COH 群では認めなかった (A 群、B 群、C 群、改良型 COH 群。それぞれ 80%、50%、21.9%、0%)。本論文は、ART における PCOS に対する COH として GnRH アンタゴニスト法を基としたレトロゾール・カベルゴリン・GnRH アンタゴニストを組み合わせた改良型 COH の有用性を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。